

## (仮称) 小金井市気候非常事態宣言(案)に対する意見及び検討結果について

### (1) 実施概要

以下に示す概要のとおりパブリックコメントを実施した。

#### ■意見募集対象

- 市内に在住・在勤・在学する方
- 市内に事務所もしくは事業所を有する法人又はその他の団体

#### ■意見募集期間

令和3年9月1日(水)から令和3年9月30日(木)まで

#### ■案の配布・閲覧場所等

市所管の下記施設のほか、市の公式ホームページで公開した。

- 環境政策課(市役所第二庁舎4階)
- 広報秘書課広聴係(市役所第二庁舎1階)
- 情報公開コーナー(市役所第二庁舎6階)
- 東小金井駅開設記念会館
- 婦人会館
- 環境配慮住宅型研修施設
- 保健センター
- 総合体育館
- 栗山公園健康運動センター
- 文化財センター
- 図書館(本館)
- 公民館各館

#### ■意見の提出状況

○提出人数

区分	窓口持参	郵送	ファクシミリ	電子メール	合計
個人	2人	—	5人	15人	22人
団体	—	—	—	—	—
合計	2人	0	5人	15人	22人

○延べ意見数 47件

#### ■検討結果の公表等

寄せられた御意見等(原則として住所・氏名を除き公開)並びに検討結果及びその理由については、次ページのとおりです。

#### ■問合せ先

小金井市環境部環境政策課環境係  
電話：042-387-9817  
FAX：042-383-6577  
メール：s040199@koganei-shi.jp

(2) 意見・質問等及び回答

No.	意見・質問等	回答
1	<p>以下のように変更を求めます。 SDGsの目指す持続可能な社会の実現に向けて、2050年までにライフサイクルCO2概念を包含した ← (挿入) 二酸化炭素排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、ここに気候非常事態であることを宣言します。</p>	<p>ライフサイクルCO2概念については、二酸化炭素排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」に包含しているものと考えております。 御意見ありがとうございました。</p>
2	<p>気候非常事態宣言を出すことに基本的に大賛成です。 とても大切な意識喚起であると考えますが、それ以上に大切なのは、宣言を出したあとに何をするのか、であると考えます。 神奈川県相模原市では、気候非常事態宣言を出して、それと並行して、さがみはらSDGsパートナー制度を立ち上げ、市内の事業者やNPOなどとパートナーシップを結び、市民と行政の協働した活動を推進しています。 またもう一つの災害である新型コロナ禍に関しては、最新の研究で地域の食べ物との因果関係が次第に明らかになってきました。その結果、EU諸国では、食物の100%有機栽培を目指して舵を切り、地産地消で完全有機栽培の食材を使った学校給食をその柱として取り入れ、地域経済の牽引役としようとしています。 小金井市でも市民主導の完全有機栽培を目指して、行政と市民、農業者とが一体となって、こうした取り組みを目指してはどうでしょうか？</p>	<p>本宣言(案)は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。 具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画(市役所版)に基づき、実施してまいります。 いただきました御意見については、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p>
3	<p>現在、市民での議論に上がっている東京都による都市計画道路は、野川公園・武蔵野公園の環境破壊を招き、結果、CO2の吸収をしてくれる樹木の伐採につながるため、この計画は断念すべきと考えます。</p>	<p>環境保全の取組については、本市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための目標、施策の方向等を定めた、第3次小金井市環境基本計画に基づき、取り組んでまいります。</p>

No.	意見・質問等	回答
4	<p>小金井市には、環境市民会議をはじめ、盛んな市民活動団体があります。これらの市民団体、有識者、大学、農業者が一同に会した「気候危機・SDGs 円卓会議」を開催してはどうでしょうか。市民の活力と創意工夫と衆智を集め、それらを行政が応援して、この共通の危機に立ち向かう前線基地としてはどうでしょうか。その格好の施設が、小金井市住宅配慮型研修施設＝環境楽習館（旧雨デモ風デモハウス）であると思います。円卓会議をはじめ、様々な分科会も立ち上げ、ここからオンラインで発信して、市民意識の向上と協力につなげます。SDGsの基本のように、誰一人取り残すことなく、全ての市民が参加して、この未曾有の危機に立ち向かうための一つの道筋を示すことが、何より重要であると考えます。</p> <p>さらに考えを進めて申し述べるならば、こうした市民協働の延長線上に待ち受ける未来とは、どのようなものであるのか、を具体的に想像するビジョニングという手法も大変有効であると考えます。これはバック・キャストイングと言って、未来のあるべき姿を思い描いて、そこから過去にさかのぼり、ではそのために今は何をなすべきかを導き出す手法です。</p>	<p>市民活動団体等との協働については、第3次小金井市環境基本計画の中で、「市民協働体制の強化」、「場・人材・情報のネットワーク化」を掲げ、環境施策を協働で進めることとしております。また、子ども向けの環境教育を充実していくことで、学生・子育て世代・働く世代など幅広い年代の人々に、環境学習活動へ参加できる機会を創出してまいります。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
5	<p>今回の市長並びに教育長連名の提案に敬意を表します。なぜならば、現在ならびに未来の人類にとって、脱炭素問題は待ったなしの最重要課題であるからです。ただ気候非常事態宣言（案）の残念な点は、地球温暖化対策ならびにエネルギー対策としての原子力発電は、発電所の事故による危険のほか、長年に亘って人体及び自然界に極めて悪影響を及ぼすという点が曖昧になっているのではなかろうかという点です。現在、放射性廃棄物の処理として、地中に埋めたり、海水中に薄めて流したりで右往左往しているようですが、火山国、地震国の我が国ではその処置は自殺行為そのものであることは自明といえます。原子力発電を継続する余裕はもはや残されていないのが現状です。原子力発電は極力使わないで自然エネルギー発電とし、常温核融合発電の開発を世界各国と共同で今以上協力にすすめ、それまでは、自然エネルギー発電等をつないでいくことを提言して欲しいと望みます。ちなみに、全世界の1年間のエネルギー消費量は、1分間に地球に届く太陽光エネルギーに等しく、太陽におこっている核融合の地球化が現実的な全世界の最大の重要課題と考えます。</p>	<p>いただきました御意見のとおり、地球温暖化対策は世界規模の問題でもあり、国際社会、国・東京都の動向等を注視して、取組を進めてまいります。</p>

No.	意見・質問等	回答
6	<p>環境政策課に今後の省エネ対策の追加について質問したところ、追加対策の予定無しとの回答でした。</p> <p>本宣言に具体的な対策案の記載は無く、宣言だけでは実行が伴わないため、市としての対策案とその予算措置案、実行予定案の同時に提示を強く求めます。</p>	<p>省エネ対策等についての具体的な取組については、第3次小金井市環境基本計画及び第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、実施してまいります。</p>
7	<p>一般的に使われている言葉を並べただけの概要説明という印象しか受けず、自分ごと（小金井市）としての危機感を感じない内容。『水と緑』をうたっているからには、もっと具体的に内容を述べるべきです。市民に、分かりやすく市としてどのように行動をするか、また市民にどのような行動をするべきかなど、示す内容が望ましいと思います。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第3次小金井市環境基本計画の中で、市の施策、市民の取組、事業者の取組等に区分し掲載しております。</p>
8	<p>地球温暖化の原因が人間活動によることがわかってきました。気候危機を止めるために私たちができる事は</p> <p>① 人々の意識改革</p> <p>② 社会の仕組みが変わることだと思います。小金井市気候非常事態宣言にある「一人ひとりから始める意識改革」には賛成です。子どもだけでなく大人も地球環境について知り、地域で話し合い、実行、発信する事が必要だと思います。</p> <p>また社会の仕組みを変えるには自治体や市内の事業者の考えも重要です。小金井市気候非常事態宣言にある「ゼロカーボンシティ」の実現についてはエネルギーの選択が迫られます。市役所・公共施設・教育現場・事業者についてはCO2が出ない再生可能エネルギーの利用を希望します。そのためにも小金井市が再生可能エネルギーの目標数値を詳しく掲げ、その後どれだけCO2の削減ができたのか？など見える化したものを教育現場や公共施設で報告会を行ったり、町会でも共有して欲しいと思います。</p>	<p>いただきました御意見のとおり、気候危機を止めるためには「人々の意識改革」、「社会の仕組みが変わる」ことが求められています。今後も市ホームページ等を活用し、意識啓発に係る情報提供に努めてまいります。</p> <p>また、再生可能エネルギーについては、本市においても今年度から、一部の庁舎等において再生可能エネルギー100%電力の導入を検討しております。費用対効果を検証しながら、今後、その他の施設においても再生可能エネルギー100%電力の導入を進めてまいります。</p> <p>市公共施設等からの温室効果ガス排出量については、毎年、市ホームページ等で公表しております。</p>
9	<p>家庭や事業から出るごみの発生抑制がCO2削減につながることも市民と共有して欲しいと思います。</p> <p>小金井市気候非常事態宣言にある、協働しながら「ゼロカーボンシティ」ができれば安心して住み続けることができる明るい未来があります。小金井市は野川をはじめ豊かな自然があります。この自然を壊すことなく次の世代に受け継いでいくことが必要だと思います。</p>	<p>ごみの発生抑制がCO2削減につながることは、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画に掲載しておりますが、本計画が、より市民に周知されるよう努めてまいります。</p> <p>また、環境保全の取組については、本市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための目標、施策の方向等を定めた第3次小金井市環境基本計画に基づき、取り組んでまいります。</p>

No.	意見・質問等	回答
10	<p>まず、小金井市も気候危機に対して強い危機感を抱き、対策を行っていく決意表明をすることは、市民として支持します。ただ、決意表明の中身について、何点か提起させて下さい。</p> <p>この非常事態を切り抜けるためには、「一人ひとりから始める意識改革」と「今すぐ行動する」ことが何より重要であり、そのために、幼い頃から地球環境に興味を持ち、自ら積極的に取り組もうとする意欲や態度を醸成する「環境教育」の充実にも注力していきます。</p> <p>ひとつには、「幼い頃から」関心を持つことは重要です。それ以上に、目下喫緊の問題である以上、大人の意識を改革していくことを強調すべきと思います。意識改革というより、「周りとは何となく同じにしていれば、間違いではないはず」という日本的な同調意識を、根底からひっくり返すくらいの勢いがないと、間に合わないと思います。</p>	<p>いただきました御意見にもあるように、目下喫緊の課題であるため、大人の意識改革も重要であると認識しております。</p> <p>豪雨による天災など、ニュース等を通じて気候危機が身近なものになってきていると感じている方も増えてきていると思いますが、啓発活動については今後、更に力を入れて取り組んでまいります。</p>
11	<p>「環境教育」について、現状、小学校における環境教育を見ると、教師が果たしてどれほど深く考えているのだろうか？という問題を感じます。気候非常事態宣言は、宣言文のため、具体性に乏しいのは仕方ないと思いますが、思考のベースとなる、環境教育と教員の質の向上も必須かと思えます。</p>	<p>幼い頃から地球環境に興味を持ち、自ら積極的に取り組もうとする意欲及び態度を醸成する「環境教育」を充実するため、第3次小金井市環境基本計画の中でも基盤の一つとして「環境教育・環境学習」を掲載しております。教育委員会とも連携して子ども向けの環境教育を充実していくことで、学生・子育て世代・働く世代など幅広い年代の人々に、環境学習活動への参加できる機会を創出してまいります。</p>
12	<p>本市の豊かな自然と、この美しい地球環境を将来世代に継承するため、市、市民、教育委員会、事業者等が協働し、温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と、気候変動による災害から市民を守る「適応策」に本気で取り組む</p> <p>本市の豊かな自然（と地球環境）を継承するために、温室効果ガスの削減を図り、災害から市民を守るのですか？文脈が繋がっていません。</p>	<p>第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画では、温室効果ガスの排出を抑制するための施策（緩和策）及び緩和を実施しても避けられない気候変動の影響に対処し、被害を回避・軽減していくための施策（適応策）を総合的に推進していくことを目指しています。</p> <p>温室効果ガスを削減することは、温暖化による地球環境の破壊及び気候変動による災害から市民を守ることに繋がると考えております。</p>

No.	意見・質問等	回答
13	<p>小金井市の豊かな自然を守って下さい。そして、温室効果ガスの削減や災害対策も行ってください。適応策の中に、ヒートアイランド対策や二酸化炭素吸収源としての緑化も入れて下さい。</p>	<p>温室効果ガスの削減及び避けられない気候変動による影響を回避・軽減するために、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画を令和3年3月に策定いたしました。この計画の中には、ヒートアイランド対策及び緑化についても掲載しております。</p>
14	<p>二酸化炭素排出実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、ここに 気候非常事態であることを宣言します。</p> <p>実現を「目指し」ですが、ゼロカーボンシティの「実現を宣言」はしないのですか？実現できなくても「目指す」だけなら大丈夫、という逃げ道が透けて見えて、宣言の本気度を疑わざるを得ません。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念、今後の方向性を示したものです。</p> <p>地球温暖化対策の取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画に基づき施策を推進することによって、「ゼロカーボンシティ」の実現を目指していきたいと考えております。</p>
15	<p>「気候非常事態宣言」、歓迎します。</p> <p>「気候危機」「気候非常事態」という認識は、気候危機の深刻さがのびきならない非常事態であり、待ったなしの状況にあるということです。2050年二酸化炭素排出実質ゼロを実現するためには、この10年が決定的に重要であるということです。政府も、今年に入って2030年までの目標を「2013年比26%」を「46%」へ引き上げました。これでも、国際的な動きの中ではまだまだ低いとの指摘があります。</p> <p>小金井市の「宣言」において、この10年、2030年までの野心的目標を明示し、実現するための本気度を示してほしいと思います。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年に二酸化炭素排出実質ゼロを目指した、長期的な宣言となります。</p> <p>2030年までの具体的な施策及び目標数値は、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進に掲載しており、着実に施策を実行していくことによって、目標を上回る成果が得られるよう努めてまいります。</p>
16	<p>全国の自治体の同書の「宣言」は、当初は、「理念型」が多かったのですが、最近の気候危機の深刻化の中で、削減策を具体的に明示するものが増えていきます。</p> <p>小金井市の「宣言」案では、「緩和策」と「適応策」という言葉はありますが、具体的な行動指針を明示されていません。参考に尼崎市の「宣言」を紹介します。この程度は具体的に明らかにしてほしいと思います。また、「適応策」としては、「グリーンインフラ」「生物多様性の保全」「農地、雑木林、屋敷林などみどりのまちづくり」なども加えてほしいと思います。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画では、温室効果ガスの排出を抑制するための施策（緩和策）及び緩和を実施しても避けられない気候変動の影響に対処し、被害を回避・軽減していくための施策（適応策）を総合的に推進していくことを目指しており、具体的な取組について掲載しております。また、第3次小金井市環境基本計画の中で「みどり」、「生物多様性」等、7つの基本目標を掲げており、具体的な取組について掲載しております。</p>

No.	意見・質問等	回答
17	<p>パブコメに出された案を元に、対案を書いてみました。  (仮称)小金井市気候非常事態宣言(改定案)  ～2050年 二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～</p> <p>近年、世界各地で熱波や干ばつ、大規模な森林火災など、地球温暖化による異常気象が頻発しています。日本各地でも、猛暑や熱帯夜の増加、記録的な集中豪雨や強大化した台風による崖崩れや洪水など、甚大な被害が発生しており、このまま温暖化が進行すると、私たちの市民生活に多大な影響が出ることが予想されています。気候変動による気象災害は極めて深刻で身近に迫った脅威であり、私たちの生存基盤を揺るがす、まさに「気候危機」です。</p> <p>この危機的状況を脱するために、2015年に国連で採択された「パリ協定」では、産業革命前からの世界の平均気温上昇を2℃より十分低く保つとともに、1.5℃以下に抑える努力を追求する目標が定められています。</p> <p>しかし、世界の二酸化炭素排出量は今なお増加し続けており、この危機的状況は、私たちの日々の行動が引き起こしているものであることが、世界中の科学者が作るIPCC報告書から2021年8月に明らかになりました。</p> <p>今こそ、私たちは気候危機を自らの問題として認識し、経済社会活動やライフスタイルの変革に取り組むなど、対策を加速させなければなりません。</p> <p>この非常事態を切り抜けるためには、「一人ひとりから始める意識改革」と「今すぐ行動する」ことが何より重要です。</p> <p>まず初めに、市の施設において再生可能エネルギー導入と断熱改修による省エネを、数値目標を設定して早急に進めます。市内の古い樹の適切な更新管理に新たな予算を付けるなど、二酸化炭素吸収量の増加に努め、市内での国産木材利用増加とバイオマスエネルギーの利用も進めます。同時に、市内事業所や家庭での省エネ、再生可能エネルギー導入を後押しします。</p> <p>この様な前例がない大規模な取り組みは、市単体では実現できないので、金融機関や建設事業者、大学を含む学校、JAなど、民間とも綿密な協議の上、ご協力いただき、事業者や市民に経済的負担がかかり過ぎない</p>	<p>気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第6次評価報告書より一文を追記いたしました。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>いただきました御意見については、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>





No.	意見・質問等	回答
20	<p>全体に非常事態であるという危機感が足りないのではないか。もっと強い表現を入れてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間活動の影響が地球温暖化を加速させてきたのは、もはや疑う余地がない。このままでは人類は存続不可能である。今できることを全てやらなければならない。など</li> </ul>	<p>気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第6次評価報告書より一文を追記いたしました。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
21	<p>小金井市ならではのトピックを入れて欲しい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺崖線という特徴的な地形に恵まれ、湧水を集めて流れる野川周辺の豊かな自然環境を市民が守ってきた</li> <li>・北には小金井公園、南には武蔵野公園、野川公園という大きな都立公園がある</li> <li>・市全体で3Rを推進したごみ減量に取り組み、市民の環境意識が高い。など</li> </ul>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>いただいた御意見にあるように、本市ならではの自然環境を含む小金井の将来の環境像等については、第3次小金井市環境基本計画の第3章「環境とその実現に向けた取組」等に掲載しております。環境保全の取組については、本計画に基づき、実施してまいります。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
22	<p>小金井市が「小金井市気候非常事態宣言」を行うことに敬意を表します。提案された「宣言（案）」について、意見を提出します。</p> <p>せっかくの小金井市の「宣言」なので、小金井市らしい「宣言」にしてはと思います。そのため、「武蔵野のゆたかな緑にかこまれた小金井市は、水清い泉のむらからおこり、名勝小金井桜の地として人々に親しまれ、環境のよい文教住宅都市として発展して」（小金井市市民憲章から）きた小金井市の特質を宣言に下記の文言を加えるべきと考えます。</p> <p>「小金井市民・小金井市が一体となって、小金井公園・武蔵野公園・野川公園と玉川上水・野川の自然をまもり、温室効果ガスの削減に取り組みます。」</p> <p>現行の「宣言案」に上記文言をなんらかの形で加えていただければと思います。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>いただいた御意見を参考に一部、文言を修正いたしました。</p> <p>このような小金井らしさを将来世代に引き継ぐため、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づく具体的な取組について、実施してまいります。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>

No.	意見・質問等	回答
23	<p>何かを主張する時には、まずは、自分の頭で考え、自分の言葉で話すことが最低限必要です。勿論それだけでは、自分勝手な主張になりかねないので、他者の発言に耳を傾け、参考にして自身の考えを修正することも有って当然ですが、その修正点を含めて自分の頭で再考し、論理を構築した上で、改めて自分自身の言葉で表現する。それが分別ある大人のコミュニケーションの基本だと思います。</p> <p>市の宣言文読ませていただきましたが、私は何度読み返してもこの中に「自分の頭で考えた」り、「自分の言葉で表現した」りしたであろう部分が1ヶ所も発見できず、困惑しています。どこか既視感を覚え記憶を辿ってみて、あまり興味を惹かれなかった本の感想文を書かされて困った子供の頃の自分の姿に思い至りました。「何か書かなくちゃいけないけど、何を書けばいいのかなあ？」と思い悩んだあの日を思い出すと共に、「やはり、義務感だけで無理矢理書かされた文には、人の心を打つ力はない。」という当たり前のことに改めて思い至りました。</p> <p>小金井市はなかなか民度の高い市ではないかと思うのですが、市の宣言文として公表するとしたら、これは、他人の言葉を寄せ集めてそれらしく体裁だけ取り繕っただけで、宣言文と言いながら内容は全くカラッポ、あまりにもお粗末であり、市民の一人としては恥ずかしく思います。</p> <p>記された内容の巧拙を云々する以前に、こうした宣言文を出すに至った経緯、科学的根拠、社会的意義、宣言文を出すことの対外的対内的意味等を見返り、「自分の頭で考え」「自分の言葉で表現する」という原点に立ち戻って一から再考することが望まれます。その原点があり、文面を再考する勇気とエネルギーが皆さんにまだ残されていることを心から願っています。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>いただきました御意見につきましては、参考とさせていただきます。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
24	<p>「市、市民、教育委員会、事業者等」それぞれが取り組むべきことをこれまでの市の施策と非常事態宣言との関係が分かるようにしてもらいたい（脈絡なく唐突に出てくるべきものではない）。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画に、施策ごとに「市の具体的な取組」、「市民の取組例」、「事業者の取組例」等に区分し掲載しております。</p>

No.	意見・質問等	回答
25	<p>非常事態宣言を出したあと、具体的にどのように取り組んでいくのかも併せて提示する必要があると考えます。</p> <p>例えば、ごみ非常事態宣言時のように、駅前などに大きな横断幕を掲げる等するようなことをもする意欲や覚悟を持って行う。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>宣言の啓発・周知について、いただきました御意見につきましては、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
26	<p>『「一人ひとりから始める意識改革」と「今すぐ行動する」ことが何より重要であり、そのために、幼い頃から地球環境に興味を持ち、・・・』とあるが、今、大人たちがすべきことにも言及が必要。</p>	<p>本宣言（案）の中では、『幼い頃からの「環境教育」の充実にも注力していきます。』としておりますが、いただきました御意見にもあるように、目下喫緊の課題であるため、大人の意識改革も重要であると認識しております。</p> <p>本宣言を発出した際には、広く市民への周知に努めてまいります。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
27	<p>CO2排出削減や温暖化抑制のため、小金井の緑のより積極的な保全・創出の取組が必要。相続発生時の民有地の緑の減少抑制が必要。</p> <p>・小金井市がこのような取り組みをすることはよいが、宣言を出すのならば実を結ぶ形の施策や行動が求められる。</p> <p>→例えば、緑の寄付を受けるときの基準も非常に受け身的であり、また、みどりの捉え方も一律的・平面的で、緑の質・量等、立体的にとらえたものとなっていない。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>いただきました御意見につきましては、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
28	<p>「この非常事態を切り抜けるためには」に続けて以下の文を加える。</p> <p>個々の市民と、市の行政、併せて二つの側による努力が何より重要です。</p> <p>すなわち、第一に「一人ひとりから始める意識改革」「今すぐ行動する」こと、「幼い頃から地球環境に興味を持ち、自ら積極的に取り組む意欲や態度を醸成する『環境教育』の充実、そして第二に、市の諸方針について、この「危機意識」を基本に据えた徹底的な再検討を直ちに市民と協働して取り組むことです。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>いただきました御意見につきましては、参考とさせていただきます。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>

No.	意見・質問等	回答
29	<p>「本市の豊かな自然と、」を以下の文に替え、「この美しい地球環境を一」に続ける。</p> <p>本市が擁する小金井公園、野川公園、武蔵野公園はじめ大小多くの公園、はげの自然は、東京都民の健康、憩いに欠かせない貴重な財産であり、市と市民は、この、かけがえのない自然環境を維持していく責務があります。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>いただきました御意見につきましては、参考とさせていただきます。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
30	<p>「本気で取り組む」は「本気で取り組みます。」に替える。「ことを共有するとともに」は削除する。</p>	<p>いただいた御意見を参考に一部、文言を修正いたしました。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
31	<p>全体に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・署名がなければ、どこの市でも良いような一般的な表現で、「宣言しました」というアリバイ的な意味合いしか読み取れません。</li> <li>・小金井市として本気で取り組む姿勢を盛り込むことをお願いします。</li> <li>・13行目からの文章</li> </ul> <p>『この非常事態を切り抜けるためには、「一人ひとりから始める意識改革」と「今すぐ行動する」ことが何より重要であり』が『そのために、幼いころから地球環境に興味を持ち・・・、意欲や態度を醸成する・・・「環境教育」の充実にも注力していきます。』とあるが、何より重要な「今すぐ行動する」ために「幼いころからの環境教育」が繋がるのか疑問です。</p>	<p>教育委員会とも連携して子ども向けの環境教育を充実していくことで、学生・子育て世代・働く世代など幅広い年代の人々に、環境学習活動へ参加できる機会を創出してまいります。</p> <p>いただいた御意見を参考に一部、文言を修正いたしました。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
32	<p>・4月に改訂された「第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画」の「緩和策」の取組指標の2030年度目標数値を見ても、新エネ機器の補助件数、市施設への設置数など具体的に高い目標を掲げているとは言えず、本気度が見えません。「適応策」についても、同様に、特に2030年度で「現状より増加」などというあいまいな目標設定が散見されます。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき実施していくこととなりますが、2030年までの具体的な施策及び目標数値は、着実に施策を実行していくことによって、目標を大きく上回る成果が得られるよう努めてまいります。</p>

No.	意見・質問等	回答
33	<p>・このような市の姿勢で「2050年二酸化炭素排出実績ゼロを目指し」た非常事態宣言は、それに合わせた施策を同時に提示すべきと考えます。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実績ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。            具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p>
34	<p>SDGsの観点から</p> <p><b>電力</b> 原発はゴミ処理が未解決で事故の処理に莫大なお金と時間がかかる事がわかった。太陽光を進めるべきである。街燈、公的建物を始め、一般の家屋にも勧める。イトーヨーカ堂の壁利用は素晴らしい。</p> <p><b>水</b> 水を地下に戻し洪水を防ぐと共に地下水の水道への利用を更に進める。小金井の雨水浸透ますの普及率が素晴らしく、更に100%に近づける。全ての駐車場のベタぬりコンクリートをさけ、隙間（小さくても）や穴をあけ、水を地下に戻す。歩道もすべりにくい材質の透水性のあるレンガブロックなどにする。これは後に述べる空気にも関連するが庭、空地、歩道、駅前ロータリーなど新しく作る道路には、必ず植栽をして水を吸わせる。（剪定にお金がかかるが、私達の生命のためである。）</p> <p><b>空気</b> 二酸化炭素を吸ってきれいな酸素を作ってくれる緑を増やす。緑は目にも心にも栄養になる。そのためには昔の水路を遊歩道に整備し、緑と共に歴史も守る。（隣接する家はイヤがるかもしれないが、水路が先にありました。）車のCO2を減らすため、地元産の作物を買う。今コロナもあり、膨大な数の宅配があり、CO2の排出は増えている。コロナが納まったら通販にたよらず、自分の足を使って近くに買いに行くには自分の健康にも良い。通販による車のCO2排出は大きな問題である。</p> <p><b>食品の廃棄</b> 私の所は徒歩5分以内でいけるスーパーが5つもあり、品揃えよく品切れになる事はない。（おそくても）品切れになると客が他に行く。毎日の廃棄は日本全体で外国におそうざいなど食料援助している量の1.4倍にもなる。この問題は、個人というより大型店を法律で規制すべき事である。個人店が全ての職種でほぼ消えつつある。因みに日本の食料自給率は37%で、すてている場合ではない。</p> <p>※植栽については、管理の問題も生じるが、基本的に自分の家の前の草取りや枝切りや清掃はボランティアで、その家の前の人にとのむ。そして足りな</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実績ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。            具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>また、環境保全の取組については、本市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための目標、施策の方向等を定めた第3次小金井市環境基本計画に基づき、取り組んでまいります。</p> <p>いただきました御意見につきましては、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p>

	<p>い分を行政がやる形にしたい。自分の生命を守るためだもの！！ いつまでも安全にすごせる地球にしましょう。</p>	
35	<p>私を含む近隣の市民有志から成る「国分寺崖線の自然を守る会」としては、世界中（地球全体）が直面している気候危機に対処するための環境保全重視政策が国・都により推進されている中で、小金井市が貴重な自然や生態系が破壊される可能性の大きい都市計画道路（例えば3・4・11号線）を推進しているという状況を看過することが出来ず、従って、以下の通り、これまで幾度にもわたり西岡市長、市議会等へ道路計画の見直しを求めてきました。</p> <p>①市長宛「環境保全モデル都市小金井宣言」の発出要請（2017.4） ②市長宛「道路問題に関し、環境面からの解決要請」（2018.3） ③議会宛「マスタープランの改定要請」（2018.10） ④陳情 「道路新設問題」（2019.2） ⑤陳情 「第5次基本構想（みどりを基本としたまち創り）」（2021.7）</p> <p>何れにせよ、私共が上記の様な色々な形で市議会、市長等に求めてきたものは形こそ異なるにせよ、基本的には今回の「小金井市気候非常事態宣言」の趣意、目的と同じであると申しても過言ではなく、従って、右宣言が小金井市民の大多数が望んでいる「みどりを保全し生かすこと」を基本とした小金井というまち創りの方向付けに真に貢献するものであることを強く期待しているところです。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>また、環境保全の取組については、本市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための目標、施策の方向等を定めた第3次小金井市環境基本計画に基づき、取り組んでまいります。</p>
36	<p>気象異常への対応は喫緊の重要課題であり、「気象異常事態宣言」の発出は、大変に有効である。ただ、その意義と発出済みの宣言（すでに多くの自治体等が対応）との比較から、小金井市（案）について、次のように提案する。</p> <p><b>【問題点】</b></p> <p>①「危機認識」と「カーボンゼロ化宣言」の一般的・表面的記載に留まっており、現実感が伝わらない。</p> <p>②環境認識についての記載が不十分であることから、なぜ当市がカーボンゼロ化を掲げるのか、その繋がりが理解し難くなっている。</p> <p>③「目標実現に向けた取組」について「環境教育」のみが記載されている。しかし、宣言を出す以上、他市のように（別添資料参照）、市として取り組むべき各分野にわたる具体的方針を明示すべきである。そうしないと市民には、</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>宣言文には、本市の特徴として、未来を担う子ども達への環境教育にも注力していくことを明記し、これを確実に実施するため、教育長との連名での発出を考えております。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>

	<p>どういふ方向で考え、行動すべきか伝わらない。</p> <p>④宣言者が共同(市長、教育長)となっている。しかし、③の通り、取り組むべき方向は、教育に限らず複数分野にわたるため、教育長が宣言者となるのはなじまない。過去に実施した宣言でも、「いじめのないまち 小金井宣言(平成24)」のように、特定分野に関する宣言のみ、共同宣言(市、教育委員会)としている。他市でも、首長を宣言者としている場合が圧倒的に多い。</p> <p><b>【改善提案】</b></p> <p>①全体を、「環境認識」「目標設定」「目標実現への取組」の順で解り易く記載する。</p> <p>②環境認識について、当市が「カーボンゼロ化」を掲げる意味と繋がるようにする。</p> <p>→「目標が定められています。」の次に、次の一文を挿入する。</p> <p>「このためには、温室効果ガス排出(特に二酸化炭素)を2050年までに実質的にゼロとする必要があり、日本もこの目標達成を宣言しています。」</p> <p>③「目標実現への取組」は、多くの他市のように、当市が取り組む方策を具体的に1.2.ーと列記する。</p> <p>④原案では、「本市の豊かな自然」は「温ガス削減」の結果継承されるものとしている。しかし、「豊かな自然」は、その温ガス吸収や温暖化緩和効果から、「積極的に保全を図る」ことを対策の1つとして位置づけ、明示する。) ⑤宣言に基づき実施すべき事項が多分野にわたるため、宣言者は、市の行政全般に関する総責任者である首長(市長)とする。</p>	
37	<p>気候非常異常事態を切り抜けるためには、「一人ひとりから始める意識改革」と「今すぐ行動する」ことが何より重要とあります。また、「本市の豊かな自然と、この美しい地球環境を将来世代に継承するため、市、市民、教育委員会、事業者等が協働」すること。『温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と気候変動による災害から市民を守る「適応策」に本気で取り組むことを共有する』ことが述べられています。</p> <p>①野川や武蔵野公園などの豊かな自然と美しい環境を守るため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の豊かな自然を守るため、都道3・4・1号及び都道3・4・11号線の道路建設を止めてください。</li> </ul>	<p>本宣言(案)は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>環境保全の取組については、本市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための目標、施策の方向等を定めた第3次小金井市環境基本計画に基づき、取り組んでまいります。</p>

No.	意見・質問等	回答
38	<p>・毎年生産緑地を含む緑地が減少しています。緑地を守る施策を強化してください。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>また、環境保全の取組については、本市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための目標、施策の方向等を定めた第3次小金井市環境基本計画に基づき、取り組んでまいります。</p>
39	<p>②温室効果ガス削減を図るために</p> <p>・「大量生産・大量消費・大量廃棄」は温室効果ガス大量排出の大本であるばかりでなく、地球環境の破壊や人の健康をも害しています。大量生産・大量消費・大量廃棄からの転換が必要です。</p> <p>・大量の輸送費をかけて地球の反対側から食材を輸入するなどは、石油など化石燃料を大量に消費します。地産地消、国内の生産と消費に力を入れることが必要です。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>いただきました御意見につきましては、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>
40	<p>・ものを大切に使うことは、「大量消費・大量廃棄」を止めることとなります。しかしながら、小金井市はリサイクル事業所を閉鎖してしまいました。リユース品の取り組みをほとんど民間に任せることにしています。3Rを進める本気度とは程遠い。気候非常事態宣言の具体策としてリサイクル事業所の再開は陳情採択及び議会決議をしています。市は再開する責務があります。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p>
41	<p>・令和3年3月、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画が策定されました。この中の「重点施策」は少なくとも本気で取り組むことが必要です。多摩市などの気候非常事態宣言の具体的取り組みを参考に温暖化対策推進計画を上乗せする取り組みを示してください。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>いただきました御意見につきましては、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p>



No.	意見・質問等	回答
42	<p>・「家庭でできる省エネ行動」には、電気機器の使用について6項目と自動車の乗り方について示していますが、できるだけ自動車はさげ、自転車に乗ることを奨励すべきではないでしょうか。自転車を安全に乗るための啓発や道路整備も必要です。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>いただきました御意見につきましては、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p>
43	<p>・三市ごみ減量市民会議は「30年後可燃ごみの焼却ゼロにする等」の三市に提言しています。この提言について「本気で取り組む」ことが求められています。30年後仮に焼却施設をつくるとしたら小金井市か国分寺市になります。いま30年を切りました。ごみ減量と30年後を本気で取り組んでください。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p>
44	<p>③気候変動から災害を守る「適応策」について 小金井市地域防災計画（20年9月4日）は、地震対策が主で、水害についてはほとんどありません。最近豪雨による災害が頻発し、犠牲者を多く出しています。小金井市も線状降水帯等による災害の危険性が増していると考えられます。中町3丁目は新庁舎等の建設予定地ですが、豪雨時1メートルもの浸水が予想されるとしています。私はその敷地のすぐ隣で、ハザードマップでは浸水区域です。庁舎建設予定地もさることながら、周辺区域について具体的な対策は見直し含め検討してください。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>近年の異常気象は、地域温暖化が引き起こしているものもあり、その一つの原因となる温室効果ガスの排出削減に取り組む具体的な施策等については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p>
45	<p>④「市・市民・教育委員会・事業者等が協働する」とするならば、協働（共同）会議を設置し、具体的な検討を行うことを提案します。</p>	<p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>いただきました御意見につきましては、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p> <p>この度は、貴重な御意見ありがとうございました。</p>

No.	意見・質問等	回答
46	<p>小金井市の気候非常事態宣言は「宣言を出すだけ」のものになっています。宣言にあるように、気候非常事態を切り抜けるために、市の責任者の意識改革が何より必要で、いますぐ行動することが求められています。具体的計画を早急に示してください。</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p>
47	<p>私は10年以上前になりますが、国立の一橋大で行われた「EMの講演会」でEMがガンに有効であることを知り、妻の友達に勧めたらと申し出たところ、自分たちが飲んでみないことにはということで、EMX GOLDを二人で毎朝紅茶に大匙一杯。現在も継続しています。昨年7月前立腺がんの疑いありと云うことで、大病院に検査入院。9日の入院（血液サラサラの薬のため）をしましたが、その間髭の伸びが少なく、退院後EMX GOLDを飲み始めると髭が元通りに伸び始めました。</p> <p>比嘉先生が強調していた「EMの蘇生力」を痛感し、最近EMの情報が殆どなかったので、ネットサイトを調べたところ、2つのサイトを見つけました。その結果、EMが現在問題となっている各種の現象について完全に対応できる凄い力を再確認した次第です。国際的にも多くの実績がありますが、光合成細菌と乳酸菌と酵母菌を中心とする有用微生物群からなるEMですが、微生物が力を発揮するためには、仲間の微生物を増やし善玉菌一杯の環境が整ったときに、EMの力が発揮されます。専門家の方は、このような集団による効果の検証は殆ど行わないで、効果がないとしてエセ科学として無視され、日本では特に、マスコミや行政で取り上げられることが殆どありません。</p> <p>EMは各自で増殖が可能で、費用は安く、自然界の法則ですべてを蘇生するという理想の微生物群です。主な効果を以下に示します。</p> <p>1. 生活排水、産業排水、農業による汚染等で、河川や湖沼や海の汚染に世界は対策がなかった。EM活性液やEMダンゴの投入でこれが解消され、水はきれいに、魚が増えています。理想は、発生源である生活や畜舎や産業現場等でEMを水の如く利用するところです。</p> <p>2. 地球温暖化は二酸化炭素が原因とされていますが、比嘉先生は上記の</p>	<p>本宣言（案）は、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指して、理念及び今後の方向性を示したものです。</p> <p>具体的な取組については、第2次小金井市地球温暖化対策地域推進計画及び第4期小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版）に基づき、実施してまいります。</p> <p>いただきました御意見につきましては、事業を実施する際に参考とさせていただきます。</p>

水の汚染、農業における化学肥料や農薬による汚染、放射能や電磁波による汚染による陽イオンの増大。乾燥化や森林火災で植物が少なくなる等、現代社会は汚染による腐敗（エントロピー）増大ということが、温暖化の原因と考えています。土壌や自然界から放出される二酸化炭素は人が排出する量の10倍にも達するためと。EMを使うと、腐敗のエネルギーを整流し蘇生のエネルギーにかえることができる。すなわち、自然も人も蘇生され、健康に生き返る、ということです。

3. 日本は福島の放射線問題が未だ解決されずにいます。EMを使った農業では、作物による放射性セシウムの吸収は完全に抑制され、収量・品質は向上放射性ストロンチウムの作物への吸収抑制にも顕著な効果が認められている。放射性セシウムの放射線量の低減が認められていましたが、ベラルーシ国立放射線生物学研究所からも、EMはセシウム137を確実に消滅する効果があるという結果が発表されました。放射能対策は政府が行うことになっており、トリチウム水や残土の問題は残ったままです。

4. 人口増加や乾燥化の進行や格差の拡大や紛争で世界の食料問題が深刻になっている。EMによる原子転換（放射線量の減少）が塩類集積地や重アルカリ土壌での野菜作りを可能に。世界各地で実証されている。乾燥した大地やこれら塩害地でのEMによる農業が普及すれば、品質と収量の向上も相まって、費用の低下と共に農家の採算向上が期待される。5. EMの光合成細菌はコイル状の構造をしており、重力子を発し重力波を整流すると云われる。この整流力を生かすと、空間に結界ができる。沖縄本島の上空55km、半径354kmの巨大な整流バリアが出来上がっている。その蘇生効果は、PM2.5の減少、各種電磁波の軽減限界突破の農業、台風被害が少なくなっている、地震の程度も軽くなる、学力テストの向上

6. 無煙炭化器で有機物（プラスチックを含む）を炭化しEMを吸収させると、EMが汚染物質をきれいにするので永久に活用できる。更に整流効果を持たせた炭作りにより、素人でも簡単にできる有機農業が可能。日本は有機農家・農地はたったの0.5%。二酸化炭素削減に寄与。

市民が実証できる次の体制作りを行政の指導で実現して下さい！！

- ・ EM活性液の利用体制
- ・ 整流炭作りの体制
- ・ 市民による協力体制